

TESE および MD-TESE に関する説明書

この文書は TESE（精巣内精子採取術）および MD-TESE（顕微鏡下精巣内精子採取術）の目的・内容・合併症について説明するものです。

説明を受けた上でご不明な点がございましたら、何でもお尋ねください。

精巣内精子採取術 (TESE)、顕微鏡下精巣内精子採取術 (MD-TESE) とは

患者様の精巣から精子を回収する手術です。

・精巣内精子採取術 (TESE)：閉塞性無精子症（精子は作られているものの、精子の通り道に原因がある）の方と重度の射精障害の方が適応となります。

・顕微鏡下精巣内精子採取術 (MD-TESE)：非閉塞性無精子症（精巣での精子を作る機能が低下）、高度乏精子症、高度精子無力症の方が適応となります。

1) 目的

男性不妊症で無精子症の方から、効率よく精子を採取し、保存するのが本手術治療の目的です。

2) 対象となる方（適応）

対象となるのは無精子症あるいは重度の乏精子無力症の患者様で、無精子症は閉塞性無精子症、非閉塞性無精子症の両者に大別されます。精巣内精子採取術 (TESE) は陰囊皮膚を小さく切開し、肉眼的に精細管（精子形成が行われる細管）を採取します。一方、顕微鏡下精巣内精子採取術 (MD-TESE) は陰囊皮膚を切開して、精巣を取り出し、大きく切開して手術用顕微鏡下に、精子が作られていると推定される良好な精細管を見極めて採取します。顕微鏡を用いることにより精巣障害を最小限に抑え、精子を効率よく採取することを目的とした術式です。精子は採取後に凍結保存し、後日、顕微受精を行います。

3) 手術前に準備しておいていただきたい点について

手術 2～3 日前までにヘソ下から太もも半分より上の範囲の毛を T 字カミソリで皮膚を傷つけないように剃っておいてください。

4) 方法

- ①原則日帰りで行います（手術で使用する縫合糸は溶ける糸なので抜糸の必要はありません）。
- ②陰囊を切開し、陰囊内容を図 1 のように創外に出し、ここから顕微鏡下の手術に移ります。
- ③顕微鏡下に精巣白膜を切開し、精巣の組織の観察を手術用顕微鏡下で行います。精子の存在を疑わせる精細管は図 2 のように拡張蛇行しており、精子の含まれている確率の高い精細管のみを選別し、採取します。

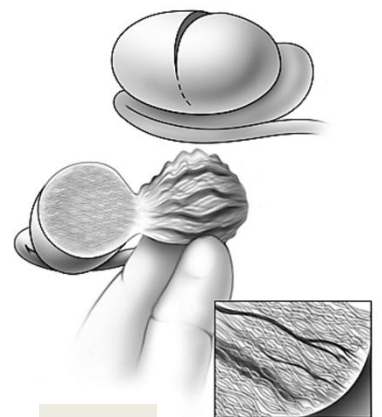
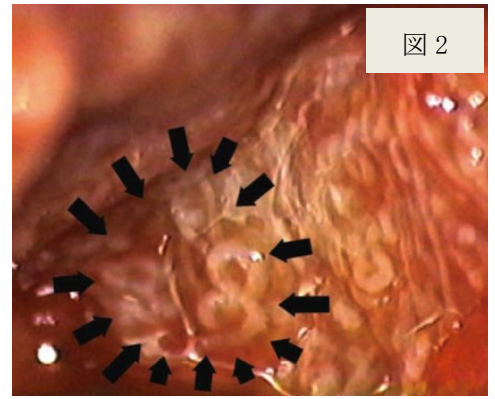


図 1



精子を確認出来れば手術を終了しますが、確認できなかった場合はさらに摘除を続けます。精子の存在を疑わせる精細管を全く認めない場合、もしくはそれらの部位をすべて摘除したにも関わらず精子を認めなければ最終的に手術を終了します。

- ④採取終了後、白膜と皮膚を閉じて手術を終わります。
(通常、顕微鏡操作が1-1.5時間かかります)
- ⑤後日、顕微受精を行います。採取された精子の状態(不動精子のみ、精子の形態が著しく不良の場合等)によっては治療に使用できず、廃棄となる可能性もあります。

※手術は原則、どちらか片方の精巣に対して行います。

また精巣生検を兼ねて行うため、極少量の組織を病理学検査へ提出し、精子が作られていく成熟の程度、上皮内癌(癌の初期の細胞)の有無を確認します。

5) 手術後の注意点について

手術後に抗生物質を処方しますので、指示通り服用してください。手術翌日からシャワーは可能ですが、入浴は傷が完全に治るまで1週間以上お控えください。飲酒、スポーツ、性交渉は1週間お控えください。

6) 手術をお受けいただくにあたっての留意点

- ①現在服用中の薬剤の変更・中止の可能性：血液をサラサラにするような(抗凝固剤、抗血栓剤、一部の高脂血症剤)薬剤の内服がある場合には手術前に休薬をお願いする場合がありますので、内服薬がある場合は必ず担当医にご相談ください。
- ②食事・飲水について：麻酔の影響で嘔吐や吐き気を生じる可能性があるため、副作用の予防のため、手術の当日夜0時以降の食事は控えてください。飲水は手術の2時間前まで可能ですが、少量のお茶・水などにしてください。
- ③手術中・手術後に合併症が発生する可能性がありますので、手術の際には原則ご家族も来院していただくようお願いいたします。また処置後は麻酔覚醒を確認できるまで数時間経過観察を行います。
- ④本手術を行っても、精子が見つからない場合があります。

7) 本手術の合併症について

- ①痛み：通常は手術後数日で軽くなります。従来の陰嚢内手術に比べて変わりありません。
- ②出血・感染：出血に関してはごく微量です。創部の感染はまれに起こり得ます。従来の陰嚢内手術に比べて変わりありません。
- ③テストステロンの低下：顕微鏡を用いた手術により精巣障害を最小限に抑えるため、低下の程度は少ないですが起こりうる合併症の1つです。
- ④精巣の萎縮：上記と同様に顕微鏡を用いた手術により精巣障害を最小限に抑える術式ですが、確率は低いながら起こりうる合併症の1つです。

また、稀にみられる重篤な合併症として深部静脈血栓症による合併症もありえます。これは他の手術全般におこりうる合併症です。いわゆるエコノミークラス症候群としてご存知の方が多いと思います。リスクが高いと考えられる方には、予防投薬を追加する場合があります。

尚、上記の合併症その他不利益が生じた際には当院において適切な処置を行います。当該処置は通常の保険診療（人工妊娠中絶を除く）であり、治療費については患者さんのご負担となりますことをあらかじめご了承ください。

8) 代替手段

射出による精子が得られない場合は、提供精子を用いる治療、あるいは養子縁組等を選択する方法があります。

9) カウンセリング

当院では医師だけでなく、希望に応じて、不妊カウンセリング学会認定の不妊カウンセラーと個別相談、カウンセリングを実施しています。現在受けている治療に不安がある、悩みを聞いてもらいたいなど、どんな内容でも構いませんので、お気軽に利用してください。

10) 費用

別紙料金表を参照してください。

11) 本説明書に関わる同意書の提出について

本説明書に関わる同意書は本治療を実施する毎にその都度、提出が必要です。

東京 ART クリニック

TESE および MD-TESE に関する同意書

私は（または私たち夫婦は）、医師やスタッフからの説明と文書によって下記の事項について十分理解し、納得した上で、TESE および MD-TESE を受けることに同意します。

また、上記手術に伴い副作用や予期せぬ合併症が生じた場合には、十分な説明を受けた上で、適宜必要な処置を受けることにも同意します。

- TESE および MD-TESE の目的、対象となる方について。
- TESE および MD-TESE の具体的方法はどのようなものか。
- TESE および MD-TESE を受けるにあたっての留意点について。
- TESE および MD-TESE のリスクについて（特に、痛み、感染、出血、テストステロン低下など）。
- 代替手段について。
- カウンセリングについて。
- TESE および MD-TESE にかかる費用について。（別紙料金表参照）

<注意事項>

- ① この同意書の提出がない場合は、TESE および MD-TESE を行うことはできません。
- ② この同意書は、今回の TESE および MD-TESE 用です。
今回の治療後に、再び同じ手術を希望する場合、本手術を実施する都度、同意書の提出が必要です。
- ③ この同意書を提出後でも、治療開始前あるいは開始後であっても、いつでも自由に同意を取り消すことができます。
また、医師が継続困難と判断すれば、ただちに治療が中止されます。
- ④ 今回ご説明した TESE および MD-TESE は、標準的な治療であり、実験的な新しい治療法や臨床試験ではありません。
- ⑤ 患者様の個人情報は、個人情報保護法及びプライバシーの保護・管理に十分配慮した上で、当院でデータ管理します。

説明責任者 東京 ART クリニック 院長 小川 誠司
説明年月日 年 月 日 説明者 _____
同意年月日 年 月 日
住 所 : _____

夫（診察券番号）： _____ 氏名（自署）： _____

妻（診察券番号）： _____ 氏名（自署）： _____

患者様控えは、大切に保管して下さい。